

ふたかみ NEWS プチトマト

笑顔で元気に「体操」 してます★



ハピバールでは水曜日に体操を実施しています。上半身のストレッチや足のトレーニングなど様々な事を行っています。最後には、「もしかめ体操」をして、頭の体操と身体の体操をしています。皆さん笑顔で元気に取り組まれています。



社会福祉法人ふたかみ福祉会

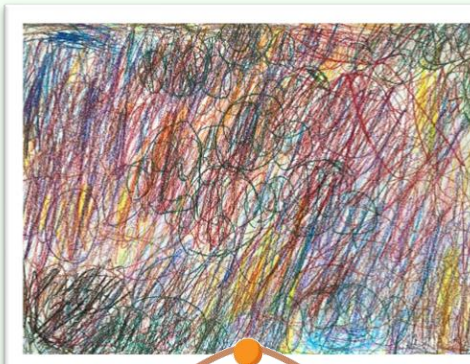
〒583-0856 大阪府羽曳野市白鳥 3-16-1 木村ビル 4 階 TEL 072-959-3221 FAX 072-957-1604

Email: futakami@kagayaku-inochi.com <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者: 石本悦二 編集責任者: 関口奈緒美



アトリエ 作品紹介



「まる、やな。」

様々な色鉛筆を重ねて色を塗っています。タイトルを聞くと「まるやなあ」と答えてくれました。少し不思議な丸の世界をお楽しみあれ!



「ロロン」

6 年前にコンクールで受賞した作品となっています。製作期間は実に半年以上!細部までより丁寧に描かれた素敵な作品となっています。



「タージマハル」

2 年ほど前から世界遺産を描き続けている方の作品となっています。今回はインドにあるタージマハルを描きました!色の表現が素敵に仕上がっています!まだまだ世界遺産の旅は続きます



エコバックが出来ました!

ハピバールよりエコバックが発売されました!
仲間が一つ一つ手描きで作成しているのでデザインはもちろんオリジナルです!
エコバックの他にカバンも販売予定なのでチェックしといて下さいね♪



■後援会入会及び更新の方々（敬称略）

【2020 年度 2 月】

・波多江望 東侑右

.....以上 4 口

・杉山やよい 辰己栗乃 谷佐代子 若林康一 森和寛 森義彦

.....以上 1 口

■寄附金.....谷佐代子様

■ボランティア.....であい様/畑英作様/細川直幸様/松倉和代様/垣内秀夫様

■アルミ缶回収（2 月分）.....8 1 2 kg

ありがとうございました

◆2021 年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

法人では用地を確保し、暮らしの場の充実をはかっていきます。

皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費: 1 口 3,000 円 団体会費: 1 口 10,000 円】 郵便振替口座: 00940-5-325894

新年度に向けて思いと

新型コロナウイルス禍に翻弄された2020年度が終わり、まだまだ予断を許さない状況の中2021年度がスタートします。

このコロナ感染拡大に伴う「緊急事態宣言」の中で高齢者・障害者福祉の脆弱さが露見した昨今でしたが、昨年度末に出された障害福祉サービス等報酬改定では重度化・高齢化への重点化のもと、中軽度者には成果主義方式を徹底し、支出と給付抑制を図ることが行われようとしています。「送迎加算」や「食事提供加算」は存続となりました。しかしきょうされんが一貫して要望してきた「日額払い報酬制度」と「利用者負担（応益負担）」の廃止は今回もかきませんでした。加算という不安定な形の支給ではなく、基本報酬に盛り込んでの増額を要望し、これからも法人として安定した事業所・工経営を目指してきょうされんと共に運動を続けていかねばならないと痛感させられました。

今年は東日本大震災から10年です。多くの税金が「復興」に使われてきました。その中には「経済の再生なくして復興なし」との題目で実際の復興に使われなかったものが1兆円余りあったようです。コロナ禍のこの10年にも似たようなものでしょうね。一方で全世代型社会保障改革が声高に叫ばれ、「自助、共助、公助そして絆」が繰り返されてきました。権利としての社会保障がないがしろにされています。2月に大阪地裁で出された生活保護引下げ違憲判決は権利としての社会保障において大きな意味を持っています。残念ながら各自自治体は控訴しましたので引き続き協力していかねばなりません。

ふたかみ福祉会理事長 八木昭二

一通の手紙から

2月に和歌山の後援会員さんから署名の入った封筒が届きました。お礼の連絡でお話を伺いました。無認可の頃から支えて頂いており、ニュースに封入した署名用紙を近隣の方にお願いをして書いてもらったそうで、あと10年続けたいと仰って頂きました。

羽曳野から和歌山に引っ越し、その後も私たちの活動を見守って下さって、コンサートや映画会にも足を運んで下さっています。改めて多くの方々に支えられている事を確認できました。

繋がりが希薄になり、コロナウィルスが更に追い打ちをかけています。しかし、今までしてきた事が誰かと通じ、その輪が少しずつ広がっている事を感じました。コンサートも街頭署名もできず、なかまと外出もできない中ですが、一通の手紙から私たちは大きな力を貰う事が出来ました。これからも繋がりを温めながら先に進んでいこうと思います。（関口こ）

はるクラブ

阪堺電車の旅



支援センターはる（南河内北障害者就業・生活支援センター）に登録されている一般企業に勤めている方々の余暇活動として、今回は阪堺電車1両を貸し切り（天王寺～浜寺公園間の往復）、車内で来年度のはるクラブの企画会議を行い、各々が考えてきた企画を発表してもらいました。

今回は、余暇企画として動物園や水族館、USJ等の企画が提案され、学習会もコロナ関連（過ごし方やワクチン接種等）や親戚きあとの生活についてみんなで話合いたいという意見等が出ていました。今後もコロナ禍で大変な状況は続くと思いますがコロナに負けることなくみんなが繋がりを持てる機会を増やしていきます。（大竹）

おいしかった！

2月13日土曜開所の給食は、おかわりオツケー（3杯まで）カレー。献立表をチェックした仲間はもちろん、職員や理事長までもが楽しみにしていました。

前日からたくさんの具材をカット。今回ジャガイモは入っていませんが、インゲンや牛スジが入っており「今回の隠し味はチーズ」だと厨房担当職員より教えてもらいました。ひと手間加えることで、普段のカレーよりマイルドになり、でも少しピリッと辛いカレーです。天候も良かったので、外に机やブルーシートを広げ開放感の中楽しく食べている仲間も。来年度から給食事業を委託するため、家庭的なおかわりカレーは最後。仲間はお腹いっぱい「はびきの園カレー」を食べ、笑顔がたくさん見られ、とても満足そうでした。ちなみにスパイシーなカレーがお好みの方は、西浦小学校前にある三角屋根のおしゃれなカフェ「ハピボール」へ是非お越しください。（山田）

ひなまつり

あかりをつけましよう、ほんぼりに〜♪ 3月3日はひな祭りです。はびきの園の開所日ではひな祭りの製作を行いました。



ひな祭りに関するクイズを行ったり、写真撮影用パネルを作っています。活動中には楽しいひな祭りの音楽を掛けながら活動に取り組んでいます。歌を歌いながら作る仲間、黙々と自分の役割をこなしていく仲間、周りの人とひな祭りの話題をする仲間、三者三様なひな祭りの活動の参加でした。写真撮影用のパネルを作った後にはみんな笑顔で写真撮影を行っています。（森本あ）



きょうされん「グッズデザインコンクール」

5名の方が受賞されました！

はびきの園からは2名が受賞！
◇福井良太郎さん◇



水性のゲルペンを使用し細部まで細かく表現された作品を描かれています。植物や果物、風景画などバリエーションは多くあります！

◇奥長君子さん◇



絵具や色鉛筆などその時の気分によって表現が変わります。現在では世界遺産の絵や芸能人、アスリートの似顔絵を描かれています。

◇新井薫さん◇



あらゆる画材を駆使して、いつも熱心に創作活動に取り組まれています。今回はコンパスで円を重ね、丁寧に色を塗られています。

◇清水 啓介さん
クーピーやカラーペンを使い、「何を描いているのですか？」と聞くと、「おばけ！」と言い、絵をよく見ると、確かに顔のような物が……。おばけが好きな清水さんです！



◇山本 真子さん
いつも「遊園地、プール、海」など楽しい場所を描いています。色の使い方が上手く、山本さんの絵が好きなファンがたくさんいます！（森本・阪本）

